

【1 分解説】米国・中間選挙とは？

経済調査部 シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

米国の中間選挙とは、大統領任期 4 年の中間である 2 年目末に行われる連邦議会選挙です。2026 年は 11 月 3 日に実施され、下院は全 435 議席、上院は約 3 分の 1 が改選対象です。政権に対する「中間評価」の意味合いを持ち、今後の政策運営に大きな影響を与えます。

2026 年中間選挙では、上院は共和党が優位、下院は接戦ながら民主党がやや有利との見方が多いです。仮に上下両院で共和党が多数を維持すれば、大統領・上院・下院のすべてを共和党が握るトリプルレッドが続きますが、民主党が下院を奪還すれば「ねじれ議会」となります。

上下両院で共和党が多数を維持する場合、トランプ大統領の政策実行力は強まり、規制緩和、財政支出拡大などを進めやすくなります。これを景気にプラスとする見方がある一方、関税強化や財政赤字拡大への懸念から、長期金利の上昇などをもたらす可能性もあります。一方、民主党が下院で勝利しねじれ議会となれば、予算や法案は通りやすくなり、政策運営は制約を受けやすくなります。ただし、市場では、急激な政策変更や過度な強硬策に歯止めがかかる点を安心材料と受け止める可能性もあります。

このように、中間選挙は米国の政治だけでなく、財政・通商政策や金利、株価の先行きを左右する重要な分岐点として、金融市場でも高い注目を集めています。